

事務事業名	21188 プリムローズ管理運営事業													
担当組織	こども健やか部					児童青少年課					担当	青少年担当		
組織コード	R4	18	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R4	01	03	02	05	01	01	記入日	令和 4年 6月21日
	R3	18	06	00		R3	01	03	02	05	01	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ										実施計画候補			
基本目標・考え方	01	子どもが健やかに育ち、いきいきと輝けるまち						再掲施策	10			● 対象	
施策	03	児童・青少年の育成環境の充実										○ 対象外	
事業期間	平成17年度～令和12年度												
根拠法令 通達等	児童福祉法					関連計画 施政方針	子ども・子育て支援事業計画						
	児童福祉法施行規則												
	戸田市立児童センター条例												
	戸田市立児童センター条例施行規則												
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：												
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：												
対象	18歳以下の児童とその保護者等												
事業目的	遊びを通して児童の健全育成を図り、併せて体力増進、コミュニケーションの促進を図り、また、育児に不安を抱く保護者の悩みを解消することなどを目的とする。												
事業内容	事業目的を達成するための各種講座等の実施。育児に関する相談を受け、また、地域との連携を図る。												
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO ) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ( )												
行財政改革の取り組み													

2. 事業費 <DO>

		令和3年度 執行額(千円)	令和4年度 予算額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	令和7年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	管理運営(指定管理料) 施設修繕	管理運営(指定管理料) 施設修繕	管理運営(指定管理料) 施設修繕	管理運営(指定管理料) 施設修繕	管理運営(指定管理料) 施設修繕	
	事業費	103,832	83,969	103,969	83,296	83,296	
	財源内訳	国庫支出金	822	822	806	806	806
		県支出金	822	822	806	806	806
		起債	0	0	0	0	0
		その他	215	217	213	213	213
		一般財源	101,973	82,108	102,144	81,471	81,471
	人件費	2,769.6	2,769.6	2,769.6	2,769.6	2,769.6	
	投入人員	常勤職員	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人
事業費+人件費		106,602	86,739	106,739	86,066	86,066	

## 3. 目標達成状況 &lt;CHECK&gt;

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	施設修繕件数	回	2	2	2	2	2
	事務事業成果①	利用者数	人	31,000	43,000	61,000	85,000	120,000
				66,882		—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
目標達成状況の分析		<p>A：全ての目標を達成した。</p> <p>&lt;判断理由&gt;            全ての指標において目標を達成できた。利用者数については、令和元年度の121,528人から令和2年度はコロナ禍のため35,107人に落ち込み、その後の利用者数の回復は困難な状況を想定していたが、令和3年度は感染症対策を行いつつ児童を受け入れ目標値を大きく超える結果となった。しかし、新型コロナウイルス発生前の水準には至っていない。</p>						

## 4. 評価結果 &lt;CHECK&gt;

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	1年度	2年度	3年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	1年度	2年度	3年度	A：経費の精査が十分になされている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	1年度	2年度	3年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	1年度	2年度	3年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 貸室など一部有料の施設があるが、全体としては無料の児童向け施設であり、受益者負担にはなじみにく性質がある。

## 5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 &lt;ACTION&gt;

令和3年度に実施した取組内容・効果	<p>取組：中高生の利用拡大に向けて、高校生・中学生・利用者に対してアンケートを実施した。</p> <p>その他の効果：アンケートの結果、中高生が児童センターに求める機能として、インターネットの利用、自習席、球技、テーブルゲーム、読書などの回答を得た。今後のサービス提供の参考としていく。</p> <p>取組：空調設備機器交換修繕Ⅱ期を実施した。</p>
令和4年度に実施する取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート内容などをふまえ、中高生が児童館に求めるサービス内容などを検討する。</li> <li>中高生も過ごしやすくなるよう場所の整備を行う。</li> <li>令和3年度に開始した高圧受変電設備交換修繕についてはコロナ禍による部品不足のため、令和4年度も引き続き実施する。</li> <li>変圧器等交換修繕を実施する。</li> </ul>

## 6. 令和5年度の方向性・取組方針 &lt;ACTION&gt;

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了
	<p>&lt;方向性の判断理由・取組方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中高生が児童館に求めるサービスについて検討し、提供可能なものから順次実施していく。</li> <li>児童センタープリムローズは竣工が平成4年9月30日、開館が平成5年4月29日である。令和4年9月で竣工から30年が経過し、施設の老朽化が進む。今後も大規模な修繕も視野に入れて計画的に修繕を実施する。</li> <li>新型コロナウイルス感染対策を行っていく。</li> </ul>

事務事業名	45386 こどもの国管理運営事業													
担当組織	こども健やか部					児童青少年課					担当	青少年担当		
組織コード	R4	18	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R4	01	03	02	05	02	01	記入日	令和 4年 6月21日
	R3	18	06	00		R3	01	03	02	05	02	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ										実施計画候補			
基本目標・考え方	01	子どもが健やかに育ち、いきいきと輝けるまち						再掲施策	10			● 対象	
施策	03	児童・青少年の育成環境の充実										○ 対象外	
事業期間	平成27年度～令和12年度												
根拠法令 通達等	児童福祉法						関連計画 施政方針	子ども・子育て支援事業計画					
	児童福祉法施行規則												
	戸田市立児童センター条例												
	戸田市立児童センター条例施行規則												
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：												
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：												
対象	児童（18歳以下の者） 付添人（保護者又は満20歳以上の者で児童の行為に責任をもてるもの）												
事業目的	遊びを通して児童の健全育成を図り、併せて体力増進、コミュニケーションの促進を図り、また、育児に不安を抱く保護者の悩みを解消することなどを目的とする。												
事業内容	事業目的を達成するための各種講座等の実施。育児に関する相談を受け、また、地域との連携を図る。												
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ( )												
行財政改革の取り組み													

2. 事業費 <DO>

		令和3年度 執行額(千円)	令和4年度 予算額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	令和7年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	施設の運営及び維持管理	施設の運営及び維持管理	施設の運営及び維持管理	施設の運営及び維持管理	施設の運営及び維持管理	
	事業費	119,876	126,665	121,937	121,937	121,937	
	財源内訳	国庫支出金	822	822	806	806	806
		県支出金	822	822	806	806	806
		起債	0	0	0	0	0
		その他	3,495	252	243	243	243
		一般財源	114,737	124,769	120,082	120,082	120,082
	人件費	2,769.6	2,769.6	2,769.6	2,769.6	2,769.6	
	投入人員	常勤職員	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人
	事業費+人件費		122,646	129,435	124,707	124,707	124,707

## 3. 目標達成状況 &lt;CHECK&gt;

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	施設修繕件数	件	2	2	2	2	2
	事務事業成果①	利用者数	人	33,000	47,400	76,200	119,400	170,000
				118,586				
目標達成状況の分析	<p>B：いずれかの目標を達成した。</p> <p>&lt;判断理由&gt; 市の執行による大きな修繕は生じなかったが、指定管理料の範囲で指定管理者において大型遊具の修繕などを実施し、施設を適切に管理した。利用者数については、令和元年度の171,811人から令和2年度はコロナ禍のため36,332人に落ち込み、その後の利用者数の回復は困難な状況を想定していたが、令和3年度は感染症対策を行いつつ児童を受け入れ、目標値を大きく超える結果となった。しかし、新型コロナウイルス発生前の水準には至っていない。</p>							

## 4. 評価結果 &lt;CHECK&gt;

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	1年度	2年度	3年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	1年度	2年度	3年度	A：経費の精査が十分になされている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	1年度	2年度	3年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	1年度	2年度	3年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 貸室やプールなど一部有料の施設があるが、全体としては無料の児童向け施設であり、受益者負担にはなじみにく性質がある。

## 5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 &lt;ACTION&gt;

令和3年度に実施した取組内容・効果	<p>新型コロナウイルス対策として、各回定員制の実施や各回間の消毒を実施しており、感染状況に応じて人数や回数を見直しを行った。</p> <p>施設について雨漏りが生じている箇所が発見されたが、施工業者による補償制度を利用し、費用負担なしの補修対応となるなど、余計な経費支出を抑制した。</p>
令和4年度に実施する取組内容	<p>中高生の利用に資する自習環境の提供のため、2階談話コーナーや多目的室の運用方法の改善を検討する。また、周知を広く行う。</p>

## 6. 令和5年度の方向性・取組方針 &lt;ACTION&gt;

事業の方向性・取組方針	<p>● 1現状で継続    ○ 2拡大して継続    ○ 3縮小して継続    ○ 4他事業と統合    ○ 5休止</p> <p>○ 6その他見直し    ○ 令和5年度で終了    ○ 令和4年度で終了    ○ 令和3年度で終了</p>
	<p>&lt;方向性の判断理由・取組方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・軽体育室やスタジアムなどの施設の特色を活かし、乳幼児から中高生までが利用できる事業展開を引き続き推進していく。</li> <li>・児童センターこどもの国は竣工が平成27年1月30日、開館が平成27年4月1日である。令和4年1月で竣工から7年が経過したところである。施設の管理については、緑の丘など損耗が激しい箇所から優先して、計画的に修繕を実施していく。</li> <li>・新型コロナウイルス感染対策を行っていく。</li> </ul>

事務事業名	7783 学童保育室事業													
担当組織	こども健やか部				児童青少年課				担当		放課後こども担当			
組織コード	R4	18	06	00	会計・款・項・目・大・事・業・中・事・業	R4	01	03	02	06	01	01	記入日	令和 4年 6月22日
	R3	18	06	00		R3	01	03	02	06	01	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補			
基本目標・考え方	01	子どもが健やかに育ち、いきいきと輝けるまち						再掲施策				● 対象		
施策	03	児童・青少年の育成環境の充実										○ 対象外		
事業期間	昭和41年度～令和12年度													
根拠法令 通達等	児童福祉法、子ども・子育て支援法 戸田市学童保育条例 戸田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準					関連計画 施政方針		子ども・子育て支援事業計画 30 「待機児童ゼロ」継続に向けた保育園と学童保育のさらなる充実						
事業区分	○ 法定受託事務      ● 自治事務のうち義務的なもの      ○ 自治事務のうち任意のもの													
強靱化計画	□ リスクシナリオ番号：													
総合戦略	■ 施策番号：2-1													
対象	小学校1年生から6年生までの児童及びその保護者													
事業目的	保護者の就労等で放課後の保育を必要とする児童に健全な遊びと生活の場を与え、児童の健全育成に寄与する。													
事業内容	就労などの事情により昼間保護者が家庭にいない小学生の児童に対し、放課後や長期休暇中、保護者に代わって保育を行う。													
実施主体	■ 市による単独直営      □ 委託（□3セク・財団      □ 企業      □ 市民・NPO）      □ 協働・協力（      ）													
行財政改革 の取り組み	重点戦略2 テーマ①（※重点戦略1 テーマ②にも該当） 取組名：学童保育室へのインターネット環境の整備 内容：小学校の教育現場へのタブレットPC導入に伴い、学童保育室へインターネット環境の構築し、学童保育室においてもタブレットPCを用いた学習に対応することができ、入室児童の学習の利便性が向上した。また、子ども・子育て支援交付金を活用したことにより、市1/3負担とすることができ、経費（修繕料、備品費）削減に繋がった。													

2. 事業費 <DO>

		令和3年度 執行額（千円）	令和4年度 予算額（千円）	令和5年度 計画額（千円）	令和6年度 計画額（千円）	令和7年度 計画額（千円）	
事業の 予算・実績	主な事業内容	管理運営	管理運営	管理運営	管理運営	管理運営	
	事業費	613,954	866,138	463,157	476,907	476,907	
	財源内訳	国庫支出金	161,029	194,999	73,795	78,378	78,378
		県支出金	154,080	164,714	68,918	73,501	73,501
		起債	0	0	0	0	0
		その他	51,254	65,056	65,056	65,056	65,056
		一般財源	247,591	441,369	255,388	259,972	259,972
	人件費	34,620	34,620	34,620	34,620	34,620	
	投入 人員	常勤職員	5人	5人	5人	5人	5人
		非常勤職員	50人	51人	51人	51人	51人
事業費+人件費		648,574	900,758	497,777	511,527	511,527	

## 3. 目標達成状況 &lt;CHECK&gt;

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動① 定員数	市内学童保育室（公立・民間）年度当初の定員数	人	2,228	2,228	2,282	2,282	2,282
	事務事業成果① 入所児童数	市内学童保育室年度当初の入所児童数	人	2,233	1,800	1,830	1,860	1,890
	総合戦略KPI① 入所児童数	市内学童保育室年度当初の入所児童数	人	1,754	1,800	1,830	1,860	1,890
				1,754	1,830	1,860	1,890	1,920
目標達成状況の分析	<p>A：全ての目標を達成した。</p> <p>&lt;判断理由&gt; 就業意欲の高まりや児童数の増加に伴い、需要の高い地区やその近隣に、民間学童保育室を誘致し、受入れ枠の拡大を図ることなどで待機児童対策としており、計画的に受け皿を確保することができ、前年度と比較して待機児童数を10名減らすことができた。入所児童数は、新型コロナウイルスの影響により、一時的に減少しているが、一部の小学校において需要は増加傾向にあり、公立建て替え時の定員拡大や必要地域への民間学童の誘致が引き続き必要と判断される。</p>							

## 4. 評価結果 &lt;CHECK&gt;

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	1年度	2年度	3年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<判断理由> 令和3年度は必要地域へ民間学童を誘致することができ、待機児童数を減少させることができた。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	1年度	2年度	3年度	A：経費の精査が十分になされている。
	B	B	A	<判断理由> 補助金を活用し、徹底した感染対策を講じながら、新たにインターネット環境を整備するなど、必要な保育の提供だけでなく利便性が向上したことから判断される。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	1年度	2年度	3年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 直営だけでなく、民間事業者も活用しており、保護者がニーズに応じて選択できることから適正と判断される。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	1年度	2年度	3年度	A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。
	A	A	A	<判断理由> 所得税額による9段階の保育料を設定しており、各家庭の事情に合わせた負担割合となっている。また、通常の学童だけでなく一時保育も実施していることから対象者の公平性も担保されている。

## 5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 &lt;ACTION&gt;

令和3年度に実施した取組内容・効果	<p>取組名：学童保育室へのインターネット環境の整備</p> <p>財政効果：（実績値）3,800千円</p> <p>積算根拠：インターネット回線工事費（修繕料）及び機器購入費について市が5,701,689円を支出（民間学童保育室含む）したが、交付金を活用し国、県が1/3ずつ負担したので、市の負担は1/3に軽減された。</p> <p>その他の効果：入室児童が宿題やタブレットPCを利用した自主学习が可能となり、ICT教育の推進に寄与した。</p>
令和4年度に実施する取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芦原小学校の待機児童対策として、令和5年度の開室を目指し民間学童保育室の誘致を進める。（行財政改革・重点戦略3） ※この誘致に関し、令和5年度分については「待機児童対策事業」に記載</li> <li>・新曾小第3学童保育室の新築工事を定員を拡大して実施する。</li> </ul>

## 6. 令和5年度の方向性・取組方針 &lt;ACTION&gt;

事業の方向性・取組方針	<input type="radio"/> 1現状で継続 <input checked="" type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了
	<p>&lt;方向性の判断理由・取組方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎建て替えが予定されている学校（戸田第一小・新曾小）の公立学童保育室の定員拡張を検討しつつ推進。</li> <li>・指導員の保育の質向上のための研修参加などに取り組んでいく。</li> <li>・保育人材の慢性的な不足により、公立学童保育室の十分な人材確保は困難な状況にある。安定した運営を目指し、公立学童保育室1室について民間委託を実施する。今後関係部署への説明、健康福祉常任委員会への報告、周知等を実施する。なお、当該学童保育室の会計年度任用職員については、他の学童保育室に異動し、必要人員の充足を図る。将来的には派遣職員の手数料の削減につなげる。</li> </ul>

事務事業名	7690 放課後子ども教室事業													
担当組織	こども健やか部				児童青少年課					担当		放課後こども担当		
組織コード	R4	18	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R4	01	10	04	03	01	01	記入日	令和 4年 6月22日
	R3	18	06	00		R3	01	10	04	03	01	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補			
基本目標・考え方	01	子どもが健やかに育ち、いきいきと輝けるまち						再掲施策				● 対象		
施策	03	児童・青少年の育成環境の充実										○ 対象外		
事業期間	平成19年度～令和12年度													
根拠法令 通達等	埼玉県放課後子供教室推進事業補助金交付要綱					関連計画 施政方針		戸田市子ども・子育て支援事業計画						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの													
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：													
総合戦略	<input checked="" type="checkbox"/> 施策番号：2-4													
対象	実施小学校区内の小学生													
事業目的	子どもたちの安全で安心な活動拠点（居場所）を設け地域の大人の協力を得て、スポーツ・文化活動・地域の皆さんとの交流活動等の取組を実施する。													
事業内容	放課後や週末等に小学校の余裕教室・校庭・体育館等を活用して様々な事業を実施する。（実施校：芦原、美谷本、新曽、喜沢、笹目、戸田東、戸田第一、新曽北、戸田南、笹目東小、美女木小、戸田第二）													
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託（ <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・NPO） <input type="checkbox"/> 協働・協力（ ）													
行財政改革 の取り組み														

2. 事業費 <DO>

		令和3年度 執行額（千円）	令和4年度 予算額（千円）	令和5年度 計画額（千円）	令和6年度 計画額（千円）	令和7年度 計画額（千円）	
事業の 予算・実績	主な事業内容	戸田市放課後 子ども教室事 業の支援	戸田市放課後 子ども教室事 業の支援	戸田市放課後 子ども教室事 業の支援	戸田市放課後 子ども教室事 業の支援	戸田市放課後 子ども教室事 業の支援	
	事業費	276	7,969	7,969	7,969	7,969	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	24	4,763	4,763	4,763	4,763
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	777	777	777	777
		一般財源	252	2,429	2,429	2,429	2,429
	人件費	5,885.4	5,885.4	5,885.4	5,885.4	5,885.4	
	投入 人員	常勤職員	0.85人	0.85人	0.85人	0.85人	0.85人
		非常勤職員	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人
事業費+人件費		6,161	13,854	13,854	13,854	13,854	

## 3. 目標達成状況 &lt;CHECK&gt;

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	登録促進回数	事業の広報活動の実施回数	3	3	4	4	4
	事務事業成果①	放課後子ども教室登録割合	登録児童数/総児童数	1.77	4.64	7.51	10.38	13.2
	総合戦略KPI①	放課後子ども教室登録割合	登録児童数/総児童数	0	—	—	—	—
				1.77	4.64	7.51	10.38	13.2
			0	—	—	—	—	
目標達成状況の分析	C：全ての目標が達成できなかった。 <判断理由> 放課後子ども教室については、コロナ禍により年間を通じて中止となったため、目標を達成することができなかった。また、令和4年度についても、引き続きコロナ禍のため上半期は再開できず、今後も感染状況により判断することになるが、下半期から可能な範囲で開催していく予定である。							

## 4. 評価結果 &lt;CHECK&gt;

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	1年度	2年度	3年度	B：施策の目標達成に貢献している。 <判断理由> 前年度と同様、コロナ禍により事業が中止となったが、コーディネーター会議において、今後の再開に向けた方針や再開後の開催方法について協議できたので貢献していると判断される。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	1年度	2年度	3年度	A：経費の精査が十分になされている。 <判断理由> 事業中止により、活動は会議の開催のみとなったが、補助金を活用し市負担を抑えることができたため、十分に精査できていると判断される。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	1年度	2年度	3年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。 <判断理由> 市民のボランティアスタッフを中心に実施している事業であり、多世代交流の場でもあることから非常に効果的であると判断される。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	1年度	2年度	3年度	B：受益・負担は適正な範囲である。 <判断理由> 保険料及び事業経費の一部を負担いただいていることから適正な範囲だと判断される。

## 5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 &lt;ACTION&gt;

令和3年度に実施した取組内容・効果	取組：令和3年度は放課後子ども教室を中止したが、放課後子ども教室コーディネーター会議を1回開催した。また、コロナ収束後の放課後子ども教室の再開方法を検討した。
令和4年度に実施する取組内容	取組：令和4年度前半は放課後子ども教室を中止とし、年度後半に向け、放課後子ども教室コーディネーター会議及び放課後子ども教室運営委員会を開催し、コロナの感染状況を見つつ、放課後子ども教室の再開について検討する。

## 6. 令和5年度の方向性・取組方針 &lt;ACTION&gt;

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 地域の潜在的な人材や保護者世代のスタッフ確保を図るため、引き続き民生委員・児童委員協議会や公立学校PTA連合会に対し、事業への協力を進めていきたい。開催場所については、特に校舎改修工事等が実施される学校においては、工事計画段階から学校や関係部局と継続して事業が実施できるよう調整してまいりたい。また、開催内容の充実を図るため、各小学校で好評な遊びや活動内容について、他校のスタッフでも情報を共有していく。 また、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえつつ、感染防止対策を行った上で、令和4年度の下半期に事業を開催できるか検討する。

事務事業名	7440 青少年健全育成事業													
担当組織	こども健やか部					児童青少年課					担当	青少年担当		
組織コード	R4	18	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R4	01	10	04	03	01	02	記入日	令和 4年 6月22日
	R3	18	06	00		R3	01	10	04	03	01	02		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補			
基本目標・考え方	01	子どもが健やかに育ち、いきいきと輝けるまち						再掲施策				○ 対象		
施策	03	児童・青少年の育成環境の充実										● 対象外		
事業期間	昭和50年度～令和12年度													
根拠法令 通達等	戸田市社会教育関係団体等事業補助金交付要綱 埼玉県青少年健全育成条例、各団体別補助金等交付 要綱、「成人の日」の行事について《文部事務次官 通達》、社会教育法、子ども・若者育成支援推進法					関連計画 施政方針								
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの													
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：													
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：													
対象	市内在住の青少年 当年20歳になった人													
事業目的	青少年に対し、ボランティア活動などの社会奉仕体験、その他の活動の機会を提供する事業の実施及び青少年の健全育成と 非行防止のための活動の充実を図り、青少年が社会的に自立した個人として成長するよう支援する。													
事業内容	青少年に対する各種啓発事業や地域の巡回補導を実施し、青少年健全育成及び非行防止を図る。各青少年団体に対する補助 金の交付、活動支援、成人式・はたちの集いの実施													
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託（ <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO） <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力（青少年団体等）													
行財政改革 の取り組み	重点戦略1 テーマ① 取組名：青少年活動が終了した団体の解散等、団体運営の見直し 内容：青少年活動の状況を考慮し、青少年団体の一部解散等、団体の運営に係る見直しを団体とともに実施する。													

2. 事業費 <DO>

		令和3年度 執行額（千円）	令和4年度 予算額（千円）	令和5年度 計画額（千円）	令和6年度 計画額（千円）	令和7年度 計画額（千円）	
事業の 予算・実績	主な事業内容	青少年育成補 導事業等・成 人式・青少年 祭り・リーダ	青少年育成補 導事業等・成 人式・青少年 祭り・リーダ	青少年育成補 導事業等・成 人式・青少年 祭り・リーダ	青少年育成補 導事業等・成 人式・青少年 祭り・リーダ	青少年育成補 導事業等・成 人式・青少年 祭り・リーダ	
	事業費	6,886	12,840	12,502	12,502	12,502	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	6,886	12,840	12,502	12,502	12,502
		人件費	10,386	10,386	10,386	10,386	10,386
	投入 人員	常勤職員	1.5人	1.5人	1.5人	1.5人	1.5人
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人
	事業費+人件費	17,272	23,226	22,888	22,888	22,888	

## 3. 目標達成状況 &lt;CHECK&gt;

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動① 補助金の種類	団体活動に対する補助金の種類	種類	12	12	12	12	12
	事務事業成果① 事業への満足度	市民意識調査（4年毎実施）による満足度	%	18	18.4	18.8	19.2	19.7
				22.1		—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
目標達成状況の分析	A：全ての目標を達成した。 <判断理由> 全ての指標において目標を達成できた。							

## 4. 評価結果 &lt;CHECK&gt;

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	1年度	2年度	3年度	B：施策の目標達成に貢献している。 <判断理由> 子どもの健やかな成長のため、青少年団体の活動を支援しているが、令和3年度は新型コロナウイルスの影響があり、団体の活動が十分には行えなかった。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	1年度	2年度	3年度	A：経費の精査が十分になされている。 <判断理由> 青少年団体の活動に要する経費を支援しているが、不用額があった場合は市に返戻してもらう仕組みとなっている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	1年度	2年度	3年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。 <判断理由> 市民による青少年団体を主体に事業が実施されており、市民との協働の仕組みである。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	1年度	2年度	3年度	B：受益・負担は適正な範囲である。 <判断理由> 青少年の健全育成や情緒発達に資する事業のため、受益した効果は金額等では測りにくく、受益者負担を求めることにはなじみにく性質がある。

## 5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 &lt;ACTION&gt;

令和3年度に実施した取組内容・効果	取組名：青少年活動が終了した団体の解散等、団体運営の見直し 財政効果：（実績値）431千円 積算根拠： R3年度当初予算 青少年を育てる地域の会補助金 解散2団体分 431千円
令和4年度に実施する取組内容	重点戦略1 テーマ① 取組名：青少年活動が終了した団体の解散等、団体運営の見直し 内容：横断的なテーマの事業を実施している青少年健全育成市民会議について、機動的で実行力のある組織体制となるよう、組織の見直しを行うため、アンケートの実施や規約改正に取り組む。

## 6. 令和5年度の方向性・取組方針 &lt;ACTION&gt;

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 青少年の健全育成事業については、成年年齢の引き下げやスマートフォンの普及、青少年の行動様式の変化などがあり、青少年が道を踏み外さないようにという観点から、青少年を害悪から守るといった観点に社会的意義が変化しており、引き続き青少年団体活動が必要である。 また、新型コロナウイルスの感染拡大状況を考慮しつつ実施していかなければならない。こうした新たな問題については戸田市青少年問題協議会等で審議していく。

事務事業名	35924 青少年の居場所事業													
担当組織	こども健やか部				児童青少年課					担当	青少年担当			
組織コード	R4	18	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R4	01	10	04	03	01	03	記入日	令和 4年 6月22日
	R3	18	06	00		R3	01	10	04	03	01	03		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ										実施計画候補			
基本目標・考え方	01	子どもが健やかに育ち、いきいきと輝けるまち						再掲施策	10			● 対象	
施策	03	児童・青少年の育成環境の充実										○ 対象外	
事業期間	平成23年度～令和12年度												
根拠法令 通達等							関連計画 施政方針	子ども・子育て支援事業計画					
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：												
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：												
対象	市内在住及び市内の高校に通学する青少年(小学生～高校生)												
事業目的	公共施設を青少年に開放し、安全・安心な居場所を確保することを目的とする。												
事業内容	市内公共施設に指導員を配置して青少年の居場所として開放し、青少年が自由に利用できるようにする。												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託                      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO ) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ( )												
行財政改革 の取り組み													

2. 事業費 <DO>

		令和3年度 執行額(千円)	令和4年度 予算額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	令和7年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	青少年の居場所の運営、青少年の広場の運営					
	事業費	15,274	17,655	16,362	16,362	16,362	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	15,274	17,655	16,362	16,362	16,362
	人件費	4,846.8	4,846.8	4,846.8	4,846.8	4,846.8	
	投入 人員	常勤職員	0.7人	0.7人	0.7人	0.7人	0.7人
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人
事業費+人件費		20,121	22,502	21,209	21,209	21,209	

3. 目標達成状況 **<CHECK>**

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	事業周知件数	事業の広報活動の実施回数	人	6	6	7	7
	事務事業成果①	利用者数	青少年の居場所を利用した延べ人数	人	13	440	—	—
					380	680	1,040	1,555
					1,260	—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
目標達成状況の分析	A：全ての目標を達成した。 <判断理由> 全ての指標において目標を達成できた。							

4. 評価結果 **<CHECK>**

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	1年度	2年度	3年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。 <判断理由> 公共施設の臨時休館などもなく通年で青少年の居場所を実施できた。また、屋外の青少年の広場についても通年で実施でき、子どもの健やかな成長に資することができた。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	1年度	2年度	3年度	A：経費の精査が十分になされている。 <判断理由> 居場所の実施場所は公共施設の一部を無償提供いただいております。また、広場の巡回警備を長期契約とするなど、経費を抑制しながら実施されている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	1年度	2年度	3年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。 <判断理由> 居場所は公共施設が比較的空き時間帯と、児童たちの放課後時間帯と両立させている。広場は他部署で設置したものを移管して運営している。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	1年度	2年度	3年度	B：受益・負担は適正な範囲である。 <判断理由> 青少年の健全育成や情緒発達に資する事業のため、受益した効果は金額等では測りにくく、受益者負担を求めることにはなじみにくい性質がある。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 **<ACTION>**

令和3年度に実施した取組内容・効果	青少年の居場所について、大学生を中心とした運営スタッフについて卒業等で人員数が安定しないことから、新規募集を大学のボランティアセンターに掲載依頼した。青少年の広場について、予算を要する業者修繕を手配するだけでなく、職員による簡易的な補修も積極的に実施した。
令和4年度に実施する取組内容	青少年の広場について、設置から年数の経過している、本町広場と中町広場について設備の劣化が激しく、業者修繕を行いながら適切に維持していく。

6. 令和5年度の方向性・取組方針 **<ACTION>**

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 青少年の居場所については、居場所の開催回数、場所を確保していくため、スタッフの確保及び使用施設の検討を進めるとともに、「おむかえ制度」を含め、周知をさらに行っていく。 青少年の広場については、子どもの安心・安全な居場所を提供していく。 引き続き新型コロナ対策にも力を入れていく。